

厚木佐藤病院・老健こまち ふれあい健康まつり

子供外科手術体験 &

医師・看護師になりきろう!! & 介護教室

毎年恒例のふれあい健康祭りを8月25日（土）に開催いたしました。今年は“防ぐ”“学ぶ”“楽しむ”の3つのテーマを掲げました。その中から、“学ぶ”“子供外科手術体験”、“楽しむ”“医師・看護師になりきろう!!”、“学ぶ”“介護教室”の開催内容をご紹介します。

☆学ぶ 子供外科手術体験

当院医師2名立ち合いの元、小学3年から中学3年生を対象に外科手術体験を行いました。

病院という言葉を知ると、少し敬遠しがちですが、医療体験をしてもらい、病院そして当院を身近に感じていただきたく、開催いたしました。

まずは、院長から当院の事、本体験の注意事項等を説明させていただきスタートしました。

体験①「手術着を着てみよう」ではガウン、マス

ク、グローブと着用するにつれて、子供達は緊張した顔つきになりましたが、

体験②「手術室をみて見よう」では、普段見る事ができない手術室を実際に



見て興味津々でした。その後、会場を移動し、体験③「縫合してみよう、内視鏡手術を体験してみよう、電気メスを使ってみよう」を行いました。医師が実際に使用する医療機器を使い体験します。

縫合体験は、持針器、医療用針とピンセットを使って縫い合わせていきます。子供達は、この体験が一番難しかったようです。内視鏡体験はトレーニング機器を使います。モニターに写った輪ゴムを内視鏡器具を使って移動させるのですが、簡単そうに見えて距離感を掴むのが難しく大人も四苦八苦しますが、子供達の方が上手く輪ゴムを移動させておりま

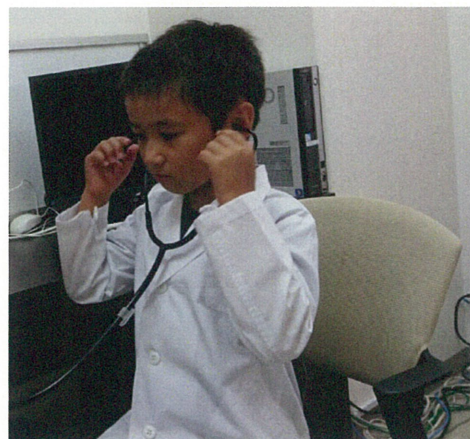
した。電気メス体験は、鶏肉を切る体験です。スイッチを押すだけで簡単に切れてしまい医療機器の凄さを一番体験できたのではないのでしょうか。

夏休みの思い出として、また、医療や病院が身近に感じていただけたらと思います。今回の参加した子供達が医療職を目指すきっかけになればうれしい限りです。



☆楽しむ 医師、看護師になりきろう!!

ふれあい健康祭りを開催してから、初めての催し物です。白衣は、憧れもあれば、病院は怖いというイメージを作ってしまうかもしれません。そんな白衣ですが、着用する機会は、そう有るわけではありま



せん。そこで、今回様々なサイズを用意し、医師や看護師になりきってもらいました。対象は、2歳から12歳までの男の子、女の子です。聴診器を耳に掛け胸の音を聞いて医師に“なりきったり”、ナースキャップを被って看護師さんに“なりきったり”と楽しそうでした。そして、色々なポーズで写真撮影を行い、皆さんの良い思い出の1ページを飾れたら幸いです。



☆学ぶ 介護教室

認知症への理解を深めよう！part2 ～家族の接し方を考えよう～

介護教室は、今回で6年目を迎えました。毎年、当院の認知症ケア専門士がテーマを考え、参加者の方たちに分かり易く学んでもらう教室となっております。今年は去年好評でした寸劇を更にバージョンアップさせ、ご家族の方が体験したことがある内容で行いました。参加者の方からも“参考になった”“理解できた”などのアンケート結果をいただき、有意義な時間を過ごされたと思います。来年も開催いたしますので、是非ご参加ください。

